



SSH通信 vol.36

本校は、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、探究学習を中心とした生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促す様々な教育活動を行っています。これまでも地域と関わりながら、多くの外部の皆様の協力を得て、先端科学あるいは国際的な社会課題に関する課題研究を中心に、多くの成果をあげてきました。出雲高校では、これからも生徒の資質・能力を伸ばすため、さまざまな取組にチャレンジしていきます。また、前号までの「Science & Global」から名称を改め、今後は「SSH通信」と題して本校のSSH事業の様子を発信していきます。

★1年生 PDGzセミナー★

3月10日、SSH事業の一環としてPDGzセミナーを実施しました。多様な分野の専門家をお招きし、それぞれの専門分野について学びを深めました。生徒からは「大学の先生方から研究に対する考え方を学び、2年次での課題研究のヒントを得られた」という声もあり、まさに今後の課題研究や進路選択をする際のヒントになりうる講義ばかりで、生徒にとっては学びの多い時間になったことと思います。参観していた教員にとっても大変興味深く、面白い内容でした。講師の先生方、誠にありがとうございました。



対話を通して「遺伝倫理」を学ぶ



ドローンの操作を体験！



課題研究でも度々テーマに挙がる「方言」

○ 講座名と講師の先生方

- 【光と物質】塚田真也先生（島根大学教育学部）
- 【地球科学】三瓶良和先生（島根大学総合理工学部）
- 【日本語の多様性】野間純平先生（島根大学法文学部）
- 【他者の心を読むことで行動を抑制してしまう心の仕組み】
村瀬俊樹先生（島根大学人間科学部）
- 【遺伝倫理】鬼形和道先生、荒木もも子先生（島根大学医学部）
- 【応用微生物学】松尾安浩先生（島根大学生物資源科学部）
- 【日本の外交】別枝行夫先生（島根県立大学総合政策学部）
- 【災害看護学】渡邊克俊先生（島根県立大学看護栄養学部）
- 【栄養学】中川忠彦先生（島根県立大学看護栄養学部）
- 【詩的表現とは何か】山根繁樹先生（島根県立大学短期大学部）
- 【発掘調査と博物館の仕事】花谷浩先生（出雲弥生の森博物館）
- 【NIE（教育に新聞を）】清水由紀子先生（山陰中央新報社）
- 【工業高校教員の仕事】佐々木雅典先生（出雲工業高校）
- 【動物病院の仕事】白濱潤先生（出雲ペットクリニック）
廣江朋子先生（島根県農林水産部農畜産課）



【光と物質】「偏光板」をかざすと・・・？

★課題研究★

本校のSSH事業の目玉として、2年生は自ら課題を設定し、仮説をたてて検証、考察するといった課題研究に取り組んできました。

2月10日に予定しておりました「SSH研究成果発表会」は残念ながら延期となりましたが、代替となる発表の場を検討しています。



2年生「SS探究A」授業風景